【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成26年11月6日(2014.11.6)

【公表番号】特表2013-537977(P2013-537977A)
【公表日】平成25年10月7日(2013.10.7)
【年通号数】公開・登録公報2013-055
【出願番号】特願2013-530114(P2013-530114)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｎ　30/60　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｎ　30/60　　Ｂ
Ｇ０１Ｎ　30/60　　Ｚ
Ｇ０１Ｎ　30/60　　Ｑ

【手続補正書】
【提出日】平成26年9月17日(2014.9.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
クロマトグラフィーカラム用プラスチックベッド支持体の湿潤方法であって、
ａ）その中に空気を含む細孔構造を有するプラスチックベッド支持体を用意する段階、及び
ｂ）０．１～３０ｗｔ％の非界面活性剤系湿潤剤を含む水溶液中にプラスチックベッド支持体を浸すことで、前記細孔構造から約６０％以上の空気を除去する段階
を含んでなる方法。
【請求項２】
さらに、ｃ）前記水溶液中に浸した場合に１０ｋＰａ以上の過圧を前記プラスチックベッド支持体に印加し、及び／又は前記水溶液中に浸した場合に前記プラスチックベッド支持体を振動させる段階を含む、請求項１記載の方法。
【請求項３】
段階ｂ）が０．１～１７ｗｔ％（例えば、１２～１７ｗｔ％）の非界面活性剤系湿潤剤を含む水溶液中にプラスチックベッド支持体を浸すことを含む、請求項１又は請求項２記載の方法。
【請求項４】
段階ｂ）において、前記水溶液が引火点を有しないか、或いは約３０℃以上の（例えば、約３５℃より高い）引火点を有する、請求項１乃至請求項３のいずれか１項記載の方法。
【請求項５】
前記非界面活性剤系湿潤剤が、ｎ－プロパノール、水酸化ナトリウム及び水酸化カリウムからなる群から選択される、請求項１乃至請求項４のいずれか１項記載の方法。
【請求項６】
前記水溶液が１２～２１ｗｔ％（例えば、１２～１７ｗｔ％）のｎ－プロパノールを含む、請求項１乃至請求項５のいずれか１項記載の方法。
【請求項７】
前記プラスチックベッド支持体が５ｃｍ以上（例えば、３０ｃｍ以上）の直径を有する

、請求項１乃至請求項６のいずれか１項記載の方法。
【請求項８】
前記プラスチック支持体がポリエチレンのようなポリオレフィンからなる、請求項１乃至請求項７のいずれか１項記載の方法。
【請求項９】
１以上のプラスチックベッド支持体（４）を含むカラム（７）上で生体分子を分離する方法であって、
ａ）その中に空気を含む細孔構造を有するプラスチックベッド支持体（４）を含むカラム（７）を用意する段階、
ｂ）０．１～３０ｗｔ％の非界面活性剤系湿潤剤を含む水溶液中に前記プラスチックベッド支持体を浸す段階、
ｃ）プラスチックベッド支持体を前記水溶液中に浸した場合に１０ｋＰａ以上の過圧を前記カラムに印加し、及び／又はプラスチックベッド支持体を前記水溶液中に浸した場合に前記カラムを振動させることで、前記細孔構造から約６０％以上の空気を除去する段階、
ｄ）前記プラスチックベッド支持体を洗浄する段階、
ｅ）前記カラム中にクロマトグラフィー媒体のベッド（８）を充填する段階、並びに
ｆ）生体分子を含む液体を前記カラム上に適用する段階
を含んでなる方法。
【請求項１０】
段階ｂ）において、前記水溶液が１２～２１ｗｔ％（例えば、１２～１７ｗｔ％）のｎ－プロパノール或いは０．１～１０ｗｔ％の水酸化ナトリウム又は水酸化カリウムを含む、請求項９記載の方法。